



世界中の女性が社会正義のために立ち上がる

もうたくさんだ

2017年3月8日

「私たちの政治システムは危機的状況にあり、グローバル経済モデルは多数ではなくごく少数の人々のために機能しているなかで、女性は社会正義、連帯及び民主主義を求めて立ち上がる」と、ローザ・パヴァネリ国際公務労連（PSI）書記長は語る。毎年3月8日に、私たちは国際女性の日を祝い、1908年に劣悪な労働条件のせいで146人の労働者が焼死した際にニューヨークで女性繊維労働者が行ったストライキを思い起こす。これは、労働者の権利と平等を求める女性たちの闘いにおける節目であった。100年以上を経ても、これらの目標に到達するにはまだ長い道のりがある。「多くの人々は、わずか1%の人々を満足させるシステム、そして経済的、社会的課題の両面でますます暴力的になっているシステムから置いてきぼりにされていると感じており、これは次世代のためのより良い将来どころか、不平等の増大をもたらすだけである。最近数か月間に人権と尊厳に基づくより良い世界を要求して街頭に繰り出し、抗議してきた何百万もの女性や少女及び若者にとって、このビジョンは、全く受け入れがたいものである。」

1975年にアイスランドで実施された歴史的な女性のストライキは平等賃金を要求した。それから41年を経た昨年に、アイスランドの女性は彼女たちの闘いを復活させ、賃金格差をきっぱりとなくすことを要求した。2016年10月には、ポーランドの女性が大衆デモに参加して、妊娠中絶（流産やレイプの場合も含む）を犯罪にしようとする法案に反対した、そして結果的にこの法案は却下された。このポーランドの行動は、世界の他地域でも大きな反響を呼び、アルゼンチンでも2016年10月に7人の女性の殺害とその後の女性による全国的デモに対する弾圧に対して人々が強い憤りを示し、10月24日にはラテンアメリカとカリブ地域全域での動員へとつながった。こうした出来事が、世界中の草の根女性団体の間により緊密な協力をもたらし、合同行動日に結集することになった。「国際的な女性ストライキ」は3月8日に40カ国で実施され、ラテンアメリカの数カ国でPSI加盟組合も参加する。

PSI世界女性委員会委員長のジュネシア・パティスタは、「女性は、ジェンダー面だけに限らず、新しい世界秩序を求めている、私たちは異なるタイプの社会関係、暴力や殺戮、差別、排除、権威主義および家父長的あるいは新植民地主義的政策のない世界を望んでいる」と言う。

PSI 米州地域執行委員会共同議長のキャンディス・アウリーは、「2017年1月21日に米国全域とカナダの数百万人の女性と男性、若者が結集して、この数十年間で最大の大衆抗議行動に膨れ上がり、移民の権利、反差別主義、環境と女性の問題を訴えました。多くの女性にとって抗議行動は初めてで、その後議員のオフィスや自宅への抗議行動に参加して、回答を要求したのです」と語った。

これらのあらゆる抗議行動は、革新的な戦略とコミュニケーション技術を駆使して、希望と現在のパワーバランスに対する挑戦のメッセージを送り、フェミニストキャンペーンの新時代の到来を告げるものである。社会運動によるキャンペーンに対する法的規制が高まり、国内法で社会的抵抗やストライキが罰せられ、ストライキと大衆動員が禁止され、社会的権利や人権の活動家が攻撃されている折に、こうした行動はなおさら重要である。

PSIメンバーの大半は公共サービス分野で働く女性である。私たちは男女平等とインターセクショナリティ（交差性）にコミットする組織である。今年3月8日に、私たちは世界中の草の根運動や労働組合の何百万もの女性たちとの連帯を誓い、「もうたくさんだ、人種主義や排外主義、ホモフォビア（同性愛嫌悪）にはノー」と訴える。私たちは自分の身体に対する自律とコントロールを要求する。今すぐに同一労働同一賃金を！権利に国境はない。職場における性に基づく暴力をなくす、そしてすべての人に質の高い公共サービスを！

PARO INTERNACIONAL DE MUJERES（国際的な女性ストライキ）に関する詳しい情報は：
<http://parodemujeres.com/>

イベント・マップは：<http://bit.ly/womens-strike-map>